

神楽名

ふど  
の  
不土野神楽

伝承地

不土野地区

椎葉村大字不土野

指定等

国指定重要無形民俗文化財

伝承団体

不土野神楽保存会

代表 椎葉 邦博



山の神面

## ◆ 神楽の概要・由来・その他

不土野地区は椎葉村の西端、不土野川流域の山間地に位置している。山林が9割の椎葉村では希有の平坦な地形で、水稻農業に適し、早くから川沿いに水田の開発が進められた。米が収穫できる富裕の地であったため「富士野」と呼ばれたのが、現在の地名の由来である。球磨人吉地方との交易の歴史は古く、明治41年に柳田国男が宿泊したことで知られる旧庄屋那須源藏邸には約50点の近世文書が保管されている。

不土野神社の創建は200年ほど前と云われ、地元では巢山神社の名で親しまれている。平成16年の大水害で不土野神社への通路が寸断されて以降、年祭りである夜神楽は不土野生活改善センターにて行われている。猪の豊猟を願う「猪取願の神楽」や、放牧場の安全を祈る「牧の願の神楽」など、集落の生活につながることを祈願する演目が多く伝承されている。「壺神楽(下)」「守の神楽(下)」「神粹」や面を着けて舞う演目は、正装である紋付き袴で舞われる。楽は八調子で、しこを踏むように舞うのが特徴的である。

## ◆ 芸能の機会・場所

- 不土野夜神楽… 12月第1土・日曜日 不土野生活改善センターにて奉納

## ◆ 演目一覧

エリメ	いたおこ 板起し	かみよび 神呼(祭式行事)	あんなが みこうや 安長・美講屋	いちかぐら 壺神楽 上
壺神楽 下	じがた 地固め	めんどの 面殿めしあげ	もん 守の神楽 上	守の神楽 下
弓通し	しょうごん殿	よつたりだいじん 四人大神(宵)	ちんちかぐら 鎮地神楽	みくま
鬼神面	おきえ	さか 酒ぼかい	稲荷神楽	ごつ天皇
ととり 戸取面	めしょう 女性面	たちから 太力面	かんしい 神粹	しばひき 柴引面
四人大神(朝)	山の神面	ししとりがん 猪取願の神楽	まき がん 牧の願の神楽	ふく たねま 福の種蒔き
火の神参り神楽	さいとり さい取さし	神送り		

※平成26年12月の神楽奉納の番付に基づく

## ◆ 演目の特徴

「稲荷神楽」と同時進行で行われる「酒ぼかい」では、神職ほか4，5人が台所に行き、神々に御神酒と大根と焼き豆腐の串刺しを召し上がるように申し上げる。串刺しはみやげとして持ち帰られ、参拝客たちが取り合いをする。椎葉神楽で「酒ぼかい」を伝える地区は稀である。

不土野神楽では、終盤には「福の種蒔き」「火の神参り神楽」「さい取さし」と火の神様に捧げる演目が続く。各演目とも最後は台所に舞込み、木のコブ（葛まきの木）、紙で作った人形、火の神御幣、ケンサキ12本などを火の神様に納め、地区に火の厄災がないことを祈る。「さい取さし」は「臼の口開け」とも呼ばれ、ゴザでくるんだ立杵たてぎねやオゴケを持った祝子が一列になって、御神屋みこうやから火の神様の祀ってある台所に舞い込む。それを女性達が遮り、押し戻し、ユーモラスな問答がなされる。台所では杵で臼を3度つく真似をする。

## ◆ その他の特徴

- 面... 鬼神、戸取、女性面めしやう、柴引き、太力面たちから、山の神 等。
- 楽... 太鼓(平バチ)、鉦かね(銅拍子)、楽板がくいた。「吉神楽」や面舞の神楽の始まりに楽板が打たれる。以前は笛も使用されたが、現在は伝承されていない。
- 装束... 紋服、袴、麻の上衣、白の舞衣まいぎぬ、黒裾文様着物、烏帽子、毛笠(猪毛)、シャグマ、宝冠(紙)、鉢巻き 等。動きの激しい演目では足袋を脱いで舞う。
- 採り物... 御幣めんぼう、面棒めんぼう、扇あふぎ、鈴(錫杖型)しやくじやう、弓、矢、刀、折敷おしき、榊の枝あさお、麻緒、木のコブ(葛まきの木)、立杵、オゴケ 等。
- 文書... 昭和50年に神楽の手順を記した「年祭神事諸控」が保管されている。

## ◆ 伝承の現状・課題

近年は保育所の子供数が増加し小学校の改築が行われるなど、若年層の人口の増加がみられる地区である。保存会会員は20名で、子供や小学校の教員を合わせると25名になる。昔は世襲制で舞う演目が代々受け継がれていたが、現在は子供や小学校の教員たちも練習に加わり、基本の舞である「おきえ」「ごつ天皇」などに参加する。



ごつ天皇



戸取面



福の種蒔き